



みちのく環境だより

環境省東北地方環境事務所 <http://tohoku.env.go.jp>

東北地域における環境問題の取組と東北地方環境事務所の活動内容を紹介しています。

地域の取組紹介

～『あきた次世代自動車実証 コンソーシアム』について (鹿角自然保護官事務所 自然保護官 井手正博)

電気自動車（以下「EV」という）は、石油依存度の低減、地球温暖化の対策として重要な役割を果たし、今後の世界的な市場成長が期待されます。

そのため、秋田県では平成 22 年度から EV と観光による地域振興モデルの構築、関連産業の振興を目標に「次世代自動車実証業務」を公立大学法人秋田県立大学に委託し、『あきた次世代自動車実証コンソーシアム』（以下、コンソーシアムという）を組織し、産学官共同で実施しています。

そして、低炭素観光の可能性を検討するための社会実証試験を行う観光地として、田沢湖周辺、一部地域に十和田八幡平国立公園の乳頭温泉を含むフィールドが選出されました。

小職は国立公園を管理する立場

でオブザーバーとして参加しています。

実証試験は、「EV」と、プラグインハイブリッド車（以下「PHV」という）を導入し、観光タクシーや公用車、観光客を想定した模擬走行試験などを通じて、目標を達成するためのデータを取得しています。

一方、コンソーシアムは 3 つのワーキンググループ（以下、WG という）からなり、プロジェクトリーダー御室哲志教授（秋田県立大学 システム科学技術学部機械知能システム学科）を中心に電気自動車や充電器などの整備やその電気工事に携わる事業者の育成、積雪寒冷地における EV の走行性の実証、EV を活用した観光活性化方策の検討などテーマ別に検討を行っています。

ちなみに、本実証試験のキックオフセレモニーとして、本年 2 月 18 日、仙北市役所田沢湖庁舎前にて、導入車両の披露と、実証試験の概要の説明を報道機関に対して行いました。（写真参考）



次世代自動車の披露

（左から、i-MiEV、リーフ、プリウス PHV）

寒さ厳しい季節から実証試験が始まり、そして、平成 22 年度分の調査が取りまとめられましたので、その内容を要約していくつか紹介したいと思います。（詳しくは、「田沢湖周辺地域における次世代自動車実証試験 調査報告書」を参照）

（次ページへ）

環境省東北地方環境事務所

〒980-0014

仙台市青葉区本町 3-2-23
仙台第 2 合同庁舎

電話：022 (722) 2870 (代表)

FAX :022 (722) 2872

電子メール：REO-TOHOKU@env.go.jp

（リサイクル、有害廃棄物輸出入関係、地球温暖化対策、石綿健康被害等に関すること）

電子メール：TOHOKU@env.go.jp

（国立公園、エコツーリズム、自然再生、野生生物、外来生物等に関すること）

まず、利用者アンケート結果についての考察です。

EV の印象・評価は総じて高いようです。例えば、乗り心地や静かさの満足度、環境配慮に取り組む観光地に対してのイメージは良いので、EV を活用した環境に良い観光地としての情報発信を積極的にPR しEV 乗車時の実質的なメリットの提供や観光関連サービスの充実を行うことでさらに魅力を高めていくことが重要であり、その意味においても EV タクシーによる普及啓発効果は高いようです。希望する EV の利用形態としても、タクシーが全年代において突出して多く、レンタカーは、30 代～50 代で利用意向が高いので、レンタカーで実施する際には対象年齢を絞った事業が効果的と考えられます。

EV の改善点については、充電切れの不安や充電時間が長いことが多く指摘されています。今後レンタカー等に活用する場合には、充電に関する不安を低減させることが重要です。

報告書では今後、課題を克服するために、次の基本方針に沿って方策の検討を行う必要が示されています。

- 1) 設置したハードの利用状況等の把握、追加整備の検討
- 2) 仙北市における EV の効果的な利用方法の検討
- 3) 県内外への PR 活動の強化

以上ですが、将来的には乳頭温泉だけではなく、秋田駒ヶ岳の

シャトルバスをはじめ、広く八幡平地域において環境に配慮されたEV 等の活用が実現することを期待し、本コンソーシアムが有意義な成果を得られるよう、小職としても、微力ながらお役に立ちたいと存じます。

～猪苗代湖水質保全に向けて 新たな計画策定に着手 (福島県)

福島県では、平成 14 年 3 月に策定した「猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画」の改定に当たり、平成 21 年 7 月に猪苗代湖水質保全対策検討委員会を設置して、今後の水質保全対策の検討を重ねてきました。その結果、4 回にわたる検討委員会を経て対策の方向性が取りまとめられ、本年 2 月 10 日に県に対し提言が行われました。

提言の内容は、酸性河川の流入によるりん等の凝集沈殿という猪苗代湖固有の自然浄化機能が低下していることを踏まえることを基本とした上で、重点的に取り組むべき対策を、流域の生活排水対策や観光地における排水対策、湖内の水生植物を利用した汚濁物質の捕集と陸域への回収、農用地からの汚濁負荷低減対策の 3 項目としています。

福島県はこの提言を計画の重点的に取り組む施策の柱に位置付け、次期推進計画を本年 3 月に策定しました。

主管する県生活環境部水・大気

環境課は、「猪苗代湖では水質の中性化が進んでおり、富栄養化による水質悪化が懸念されている。

こうしたことから、推進計画に基づき、県民、事業者、行政等が一体となって水環境保全に取り組んでいきたい。」としています。



ヨシ刈り風景

事業紹介

～復興に向けてハイブリッド 塵芥車が走る町 (岩手県大槌町)

岩手県大槌町は、3 月 11 日の東日本大震災の津波により、町の中心部が壊滅的な被害を受け、町長や町職員を含め、数多くの町民が犠牲となりました。

また、大槌町は二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金により、二酸化炭素の排出が少ないハイブリッドの塵芥車 2 台と資源回収車 2 台を導入し、本年 4 月からこれらの車両で一般廃棄物の収集運搬を行う計画でしたが、東日本大震災により実施が遅れていました。

こうした中、4 月になって、静岡県藤枝市、岐阜県飛騨高山市の両市からパッカー車両各 1 台の寄贈と上記のハイブリッド車両 3 台

(1台は被災)が導入され、5月から5台の車両により一般廃棄物の収集運搬が行われています。

大槌町は一般廃棄物の収集運搬は民間業者に委託し、収集した廃棄物の処理は、周辺の3市2町(釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町、大槌町)による広域処理を行っています。

大槌町の担当者は「広域処理を行っている周辺の自治体も大変な被害を被っているが、みんなで力をあわせて住民の生活環境の保全に努めて参りたい」と話していました。



ハイブリッド塵芥車

施設紹介

～白神山地世界遺産センター 西目屋館 (青森県西目屋村)



西目屋館内

白神山地世界遺産センター西目屋館は、世界遺産を守るための調査研究施設です。実験室や資料室、会議室があり、白神山地においてブナ林モニタリング調査や気象観測調査、入山者数調査を行っているほか、白神山地で調査研究を行う方への支援も行っていま

す。また、子どもたちの体験キャンプなどの環境教育活動も行っています。

展示室ではアクティブレジャー手づくりの最新自然情報コーナーや、白神山地の生きものたちの写真を展示しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

(なお、当館は、平日8:30～17:00まで開館しています。業務の都合で臨時に休館する場合がありますので、ご了解ください。)

今春、ホームページを全面リニューアルいたしました。ぜひご覧ください。

<http://tohoku.env.go.jp/nature/shirakami/>



これからの季節、白神山地は新緑が綺麗な時期を迎えます。爽やかな初夏の白神山地に遊びにいらしてください。お待ちしております！

東北地方環境事務所の業務予定(平成23年6月・7月)

月日	時間	業務予定内容		場所等	担当課等
5.30～ 6.5		全国ごみ不法投棄監視ウィーク	不法投棄撲滅を目指し国・自治体・関係機関等が全国一斉に監視活動や美化清掃活動を実施する	各県、市長村等	廃棄物・リサイクル対策課(高岡)
6.1	13:15～ 15:00	不法投棄監視合同スカイパトロール(山形県)	廃棄物の不法投棄等の上空監視パトロールを実施する	山形空港消防ヘリポート(東根市)	廃棄物・リサイクル対策課(高岡)
6.2	10:40～ 12:00	漂着ゴミ調査	酒田海上保安部と浜中小学校(海上保安協力校)等が実施する漂着ゴミ回収・分別調査に参加する	浜中あさり海水浴場(酒田市)	鳥海南麓自然保護官事務所(大木)
6.4	8:00～ 15:30	自然観察会	国見温泉から秋田駒ヶ岳まで往復しながらの自然観察	国見温泉駐車場(雫石町)	盛岡自然保護官事務所(田村)
6.4～ 6.5	8:30～ 16:30	白神山地新緑の小岳登山・ブロッコリーと花の田苗代湿原を訪ねる	世界遺産地域を望む小岳登山と田苗代湿原・岳岱等を散策し自然観察	小岳、田苗代湿原ほか(藤里町)	藤里自然保護官事務所(小松)
6.7	9:50～ 11:20	漂着ゴミ調査	秋田海上保安部と北陽小学校(海上保安協力校)等が実施する漂着ゴミ回収・分別調査に参加する	戸賀海水浴場(男鹿市)	廃棄物・リサイクル対策課(高岡)
6.11	7:00～ 15:30	登山観察会	平ヶ倉登山口から千沼ヶ原まで往復します	平ヶ倉登山口(8番待避所前)	盛岡自然保護官事務所(田村)
6.12	9:30～ 12:30	残雪とブナの新緑観察会	雪の残る新緑のブナ林を楽しみながら自然観察会	田代谷地	羽黒自然保護官事務所(坂本)
6.12	10:00～ 15:00	自然観察会	深緑のブナ林を散策・桃洞の滝を訪ねる	桃洞の滝	秋田自然保護官事務所(畠山)
6.17	9:00～ 11:00	漂着ゴミ調査	青森海上保安部と舞戸小学校(海上保安協力校)等が実施する漂着ゴミ回収・分別調査に参加する	七里長浜港(鱒ヶ沢町)	西目屋自然保護官事務所(山崎)
6.18	8:30～ 15:00	バスツアー	宮沢賢治と岩手山登山について思いを馳せる、講師付きバスツアー	岩手県産業文化センター駐車場もしくは滝沢駅	盛岡自然保護官事務所(田村)
6.25	8:30～ 14:30	自然観察会	網張温泉登山リフトを使い、犬倉山と網張温泉スキー場ゲレンデの開花植物を探勝します	網張温泉登山リフト前	盛岡自然保護官事務所(田村)
6.26	8:00～ 12:30	有川林道を歩く	月山四合目から月山牧場まで健康的にトレッキング	月山	羽黒自然保護官事務所(坂本)
6.26	9:00～ 15:00	目指せ外輪山のてっぺん! 十和田山	十和田湖の御倉半島を眼下に望む十和田山宇樽部から登山します。	宇樽部棧橋前駐車場	十和田自然保護官事務所(舟橋)

月日	時間	業務予定内容		場所等	担当課等
7.1～ 7.31	9:00～ 16:30	アクティブレン ジャー写真展	アクティブレンジャーが撮影した公園内の写真を 展示	鳥海イヌワシみら い館	鳥海南麓自然保護 官事務所 (大木)
7.2	19:30～	ホテル観察会	ゲンジボタルの幻想的な光を観察する	月山ビジターセン ター	羽黒自然保護官事 務所 (坂本)
7.2	9:40～ 14:30	自然観察会	鞍掛山(標高896m)山頂を往復しながらの動植 物観察	相の沢登山口(駐 車場)～鞍掛山山 頂	盛岡自然保護官事 務所 (田村)
7.2	8:30～ 15:00	湿原と十和田湖展 望! 白地山登山	樹海ライン鉛山峠駐車場から白地山を登山し、白 地湿原の高山植物や十和田湖を眺望し、大川岱 に下山します。	大川岱駐車場	十和田自然保護官 事務所 (舟橋)
7.3	8:00～ 14:00	鶴巻登山道に行く	月山七合目から北月山荘まで健康的にトレッキ ング	月山	羽黒自然保護官事 務所 (坂本)
7.4	13:30～ 17:00	温室効果ガス排出 量算定・報告・公表 制度説明会	制度の概要、排出量の算定方式、報告書の記入 方法等について説明します。	仙台第2合同庁舎 2F共用会議室 (仙台市)	環境対策課 (向田)
7.9	8:00～ 13:00	弥陀ヶ原湿原観察 会	月山八合目の弥陀ヶ原で高山植物のお花畑を楽 しもう	月山	羽黒自然保護官事 務所 (坂本)
7.9	19:00～ 21:00	自然観察会	網張の森ブナ林に棲むヒメボタルの観察会 (周辺施設3館によるネットワーク行事)	網張ビジターセン ター(雫石町)	盛岡自然保護官事 務所 (田村)
7.10	8:00～ 15:00	夏の小白森・大白 森湿原登山観察会	高層湿原の観察を主とした自然観察会	小白森・大白森周 辺	鹿角自然保護官事 務所 (井手)
7.10～ 7.15	19:00～ 21:00	自然観察会	網張の森ブナ林に棲むヒメボタルの観察会	網張ビジターセン ター(雫石町)	盛岡自然保護官事 務所 (田村)
7.17	10:00～ 15:00	自然観察会	ヒバクラ岳の高山植物を訪ねる	ヒバクラ歩道	秋田自然保護官事 務所 (畠山)
7.17	8:50～ 14:00	秋田駒ヶ岳自然観 察会「コマクサを見 よう」	コマクサの群落等を見る自然観察会	秋田駒ヶ岳周辺	鹿角自然保護官事 務所 (井手)
7.22	8:00～ 15:00	八甲田大岳ゆっく り登山	爽やかな風が吹く八甲田大岳をゆっくり登山しま す。酸ヶ湯～仙人岱～大岳～毛無岱～酸ヶ湯	酸ヶ湯インフォメー ションセンター駐 車場	十和田自然保護官 事務所 (舟橋)
7.23	6:30～ 15:30	登山観察会	柳沢登山口から岩手山山頂(2038m)まで自然 観察しながら登山し往復する	柳沢登山口(馬返 し登山口)駐車場 (滝沢村)	盛岡自然保護官事 務所 (田村)
7.24	9:00～ 15:30	磐梯山登山 自然観察会	登山を楽しみながら高山植物を観察したり、裏磐 梯の雄大な景色を堪能してもらう	磐梯山 (八方台登山口)	裏磐梯自然保護官 事務所 (福地)
7.31	10:00～ 15:00	自然観察会	ブナ林で自然を観察	桃洞の滝	秋田自然保護官事 務所 (畠山)
7.31	8:00～ 15:00	自然観察会	網張から登山リフトを利用し、黒倉山まで往復し火 山としての岩手山を観察 (周辺施設3館によるネットワーク行事)	網張温泉登山リフ ト前	盛岡自然保護官事 務所 (田村)

誌上写真展



オシラビソの樹林の向こうの岩手山に雲の切れ目から日が差した
(鹿角自然保護官事務所 井手 正博)



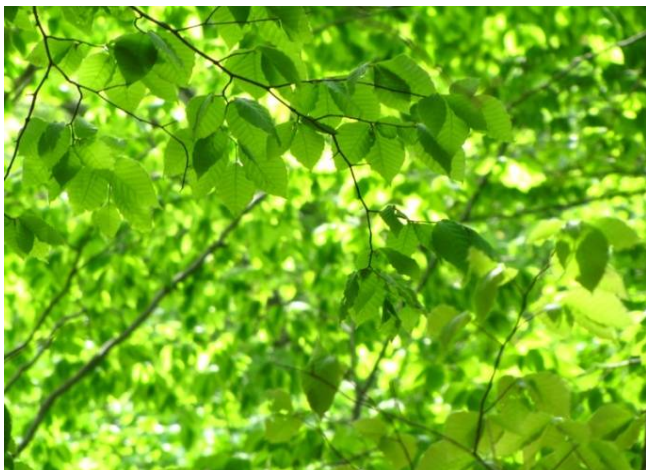
穏やかな八幡平の稜線の向こうに見えた森吉山を眺めながらしばしの休憩中
(鹿角自然保護官事務所
アクティブレジャー 阿部 明広)



月山(羽黒山から)
(羽黒自然保護官事務所 坂本 万純)



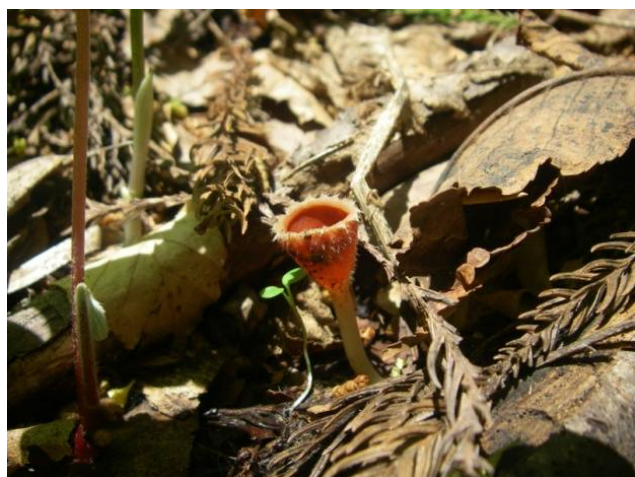
雪解けとともに、ミズバショウが咲いた
(鹿角自然保護官事務所
アクティブレジャー 阿部 明広)



蔦の新緑
(十和田自然保護官事務所
アクティブレンジャー 種村 由貴)



シュンラン(羽黒山)
(羽黒自然保護官事務所 坂本 万純)



森のコップ(羽黒山)
(羽黒自然保護官事務所 坂本 万純)



イカリソウ(羽黒山)
(羽黒自然保護官事務所 坂本 万純)



休屋のアナグマ
(十和田自然保護官事務所
アクティブレンジャー 種村 由貴)



ひがき
日暈
(羽黒自然保護官事務所
アクティブレンジャー 佐々木 大樹)

題字横の写真：オオヤマザクラとニューナイズズメ
(十和田自然保護官事務所 アクティブレンジャー 種村 由貴)